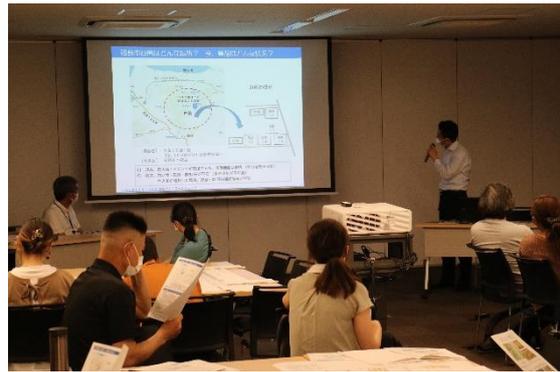


稲敷市 “持続可能な地域づくり” ニュース <vol.4>

7月4日（月）、第3回「いなしきを未来につなぐワークショップ」が開催されました。前回に引き続き、筑波大生（5名）も駆けつけてくれました。

今回は、これまで話し合ってきた意見やアイデア等をいったん整理し、その要素を9月定例議会に提案する「過疎地域持続的発展計画（案）」に反映させるなど、まさに“前半の山場”となる回です。そのため、ワークショップメンバーをはじめ、地域おこし協力隊や筑波大生、そして事務局も加わった、まさに総力戦で挑むこととなりました。



ワークショップ前半は、事務局からの説明とともに、桜川部会の水飼さんから、地元桜川（四箇）の現状と今後の集落の見通しなどのお話をうかがいました。



これまで自由闊達に意見交換や提案・アイデア出しを行ってきた分、まとめる要素も多く、いずれの部会でも頭を抱えるような状況が見受けられました。

今回は、前半の説明に多くの時間を使ってしまったため、各部会の発表には至らず、そのままメッセージアプリ「Slack（スラック）」での話し合いにスライドし、取りまとめを行っていただくこととなりました。

この後は7月15日（金）に第2回「稲敷市持続可能な地域づくりプラン策定委員会」が開催される予定です。ここでも地域づくりプランの経過報告とともに、「過疎地域持続的発展計画（案）」について議論いただきます。

ワークショップメンバーとともに、我々事務局も“生みの苦しみ”に悪戦苦闘しながらも、回を追うごとに深まっていくワークショップメンバーの“つながり”には、何かを期待せずにはいられない今日この頃です。

《ワークショップの内容》

○本日は、第2回ワークショップでの地域資源と生かし方をもとに作成した、「地域別の将来像の考え方」について、先に説明した「過疎地域持続発展計画（過疎計画）」をもとに、2つのテーマについて議論を行います。

【作業内容】

■テーマ1 地域の方向性と取組みについて確認する。

これまでのワークショップで議論していた皆さんの意見やアイデアとともに、前回から行っているそれぞれの地域で検討内容を踏まえ、「地域の方向性」と「地域別の取組み」のまとめを踏まえ、地域別の方向性と取組みについての案をご提案します。ご自身のお住いの地域の内容を確認したうえで、他の3つの地域についても確認し、修正案や提案事項をまとめてください。

〔地域の方向性〕

	江戸崎地区	新利根地区	桜川地区	東地区
方向性 (案)	●公共サービスや生活機能を充実し、稲敷の中心を担う地域	●生活空間の魅力と機能を高め、住みやすさを提供する地域	●霞ヶ浦と共生した交流と風土に根付いた暮らし方を提供する地域	●農業の可能性を探求し、稲敷らしい活力を創出する地域
広域的な 役割分担 (案)	●土浦・つくば方面に開いた地域としてのまちづくりを担う地域	●龍ヶ崎・成田方面に開いた地域としてのまちづくりを担う地域	●霞ヶ浦に開いた地域としての観光・交流のまちづくりを担う地域	●千葉、東京方面に開いた地域としてのまちづくりを担う地域

■テーマ2 4つの地域の将来像と施策（たたき台）について確認する。

地域の方向性と取組みをもとに、地域別の将来像と施策のまとめを踏まえ、地域別の将来像と施策についての案をご提案します。ご自身のお住いの地域の内容を確認したうえで、他の3つの地域についても確認し、修正案や提案事項をまとめてください。

〔地域・市全体の将来像〕

	江戸崎地区	新利根地区	桜川地区	東地区
地域の 将来像				
地域の 施策				
市全体の 将来像				
その理由				